



監視とレポート

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere

NetApp
December 09, 2025

目次

監視とレポート	1
ステータス情報の表示	1
ジョブの監視	2
ジョブ ログのダウンロード	3
レポートへのアクセス	4
VMware vSphere Clientからのレポートの種類	4
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere GUIからのサポート バンドルの生成	6
メンテナンス コンソールからのサポート バンドルの生成	7
監査ログ	8
データ保護のイベント	9
メンテナンス コンソールのイベント	10
管理コンソールのイベント	10
syslogサーバの設定	11
監査ログ設定の変更	11

監視とレポート

ステータス情報の表示

vSphere Clientのダッシュボードでステータス情報を確認できます。ステータス情報は1時間に1回更新されます。

手順

1. vCenterクライアントの[Shortcuts]ページで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere (SCV) を選択します。
2. SCV の左側のナビゲーション ペインで、ダッシュボード > ステータス を選択します。
3. 次の表に示すように、概要ステータス情報を表示するか、詳細を表示するリンクを選択してください。

このダッシュボードタイルは...	次の情報を表示します...
最近の職務活動	最新の 3 ~ 5 件のバックアップ、復元、マウントジョブ。 <ul style="list-style-type: none">• ジョブ ID を選択すると、そのジョブの詳細が表示されます。• すべてのジョブの詳細を確認するには、[すべて表示] を選択して [ジョブ モニター] タブに移動します。
ジョブ	選択した時間枠内で実行された各ジョブ タイプ (バックアップ、復元、マウント) の数。グラフのセクションにカーソルを合わせると、そのカテゴリの詳細情報が表示されます。

このダッシュボードタイルは...	次の情報を表示します...
最新の保護サマリ	<p>選択した時間枠内のプライマリおよびセカンダリ VM またはデータストアのデータ保護ステータスの概要。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドロップダウンメニューを選択して、VM または データストア を選択します。 • セカンダリストレージの場合は、* SnapVault* または * SnapMirror* を選択します。 • グラフのセクションにカーソルを合わせると、そのカテゴリ内のVMまたはデータストアの数が表示されます。[Successful]カテゴリには、リソースごとに最新のバックアップが表示されます。 • 構成ファイルを編集することで、期間を変更できます。デフォルトの期間は7日です。詳細については、"設定のカスタマイズ"。 • 内部カウンタは、プライマリまたはセカンダリのバックアップごとに更新されます。ダッシュボード タイルは6時間ごとに更新されます。更新時間は変更できません。注: ミラー ポールト保護ポリシーを使用する場合、保護サマリーのカウンタはSnapMirrorチャートではなくSnapVaultサマリー チャートに表示されます。
構成	SnapCenter Plug-in for VMware vSphereによって管理される各オブジェクトのタイプごとの合計数。
ストレージ	<p>生成されたスナップショット、 SnapVaultショット、およびSnapMirrorスナップショットの合計数と、プライマリ スナップショットとセカンダリ スナップショットに使用されるストレージの量。線グラフには、過去90日間について、プライマリとセカンダリそれぞれの1日のストレージ使用量が表示されます。ストレージ情報は、24 時間ごとに午前 1 時 8 分に更新されます。ストレージ節約は、論理容量 (スナップショット節約と消費されたストレージ) とプライマリ ストレージの物理容量の比率です。棒グラフはストレージ削減率を示しています。</p> <p>グラフの線にカーソルを合わせると、1日ごとの詳細な結果が表示されます。</p>

ジョブの監視

VMware vSphere Clientを使用してデータ保護処理を実行したあとは、ダッシュボード

の[Job Monitor]タブでジョブ ステータスを監視し、ジョブの詳細を確認できます。

手順

1. vCenterクライアントの[Shortcuts]ページで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere (SCV) を選択します。
2. SCV の左側のナビゲーション ペインで、ダッシュボード を選択します。
3. 2 つ以上の vCenter がリンク モードで構成されている場合は、SCV プラグイン インスタンスを選択し、[ジョブ モニター] タブを選択します。[Job Monitor]タブに、各ジョブ、およびそのステータス、開始時刻、終了時刻が表示されます。ジョブ名が長い場合は、右にスクロールしないと開始時刻と終了時刻が表示されない場合があります。表示は30秒ごとに更新されます。
 - オンデマンドで表示を更新するには、ツールバーの更新アイコンを選択します。
 - 表示するジョブの期間、タイプ、タグ、ステータスを選択するには、フィルタ アイコンを選択します。フィルタでは大文字と小文字が区別されます。
 - ジョブの実行中に表示を更新するには、[Job Details]ウィンドウで更新アイコンを選択します。

ダッシュボードにジョブ情報が表示されない場合は、["KB 記事: SnapCenter vSphere クライアント ダッシュボードにジョブが表示されない"](#)。

ジョブ ログのダウンロード

ジョブ ログは、SnapCenter VMware vSphere Clientのダッシュボードにある[Job Monitor]タブからダウンロードできます。

VMware vSphere Clientの使用時に予期しない動作が発生した場合、ログ ファイルで原因を特定して問題を解決することができます。



ジョブ ログの保持期間のデフォルト値は30日です。また、ジョブの保持期間のデフォルト値は90日です。設定された保持期間よりも古いジョブ ログおよびジョブは、6時間ごとにパーズされます。設定を使用することができます `jobs/cleanup` ジョブとジョブ ログの保持期間を変更するための REST API。パーズ スケジュールは変更できません。

手順

1. vCenterクライアントの[Shortcuts]ページで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere (SCV) を選択します。
2. SCV の左側のナビゲーション ペインで、ダッシュボード > ジョブ モニター を選択します。
3. [Job Monitor]タイトル バーで、ダウンロード アイコンを選択します。

アイコンが表示されない場合は、右にスクロールしてください。

ジョブをダブルクリックしてジョブの詳細ウィンドウにアクセスし、*ジョブ ログのダウンロード*を選択することもできます。

結果

ジョブ ログは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが導入されているLinux VMホストに保存されます。デフォルトのジョブログの場所は `/var/log/netapp`。

ジョブログをダウンロードしようとしたが、エラー メッセージに指定されたログ ファイルが削除されている場合は、次のエラーが発生する可能性があります。HTTP ERROR 500 Problem accessing /export-scv-logs。このエラーを修正するには、エラー メッセージで指定されたファイルのファイル アクセス ステータスと権限を確認し、アクセスの問題を修正します。

レポートへのアクセス

ダッシュボードから1つ以上のジョブのレポートを要求できます。

[Reports]タブには、ダッシュボードの[Jobs]ページで選択したジョブに関する情報が表示されます。ジョブを選択していない場合、[Reports]タブは空白になります。

手順

1. vCenterクライアントの[Shortcuts]ページで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere (SCV) を選択します。
2. SCV の左側のナビゲーション ペインで、ダッシュボード > レポート タブを選択します。
3. [Backup Reports]では、次の操作を実行できます。

- a. レポートの変更

フィルタ アイコンを選択して、期間、ジョブ ステータスのタイプ、リソース グループ、およびレポートに含めるポリシーを変更します。

- b. 詳細なレポートの生成

任意のジョブをダブルクリックして、そのジョブの詳細なレポートを生成します。

4. オプション: [レポート] タブで [ダウンロード] を選択し、形式 (HTML または CSV) を選択します。

ダウンロード アイコンを選択してプラグイン ログをダウンロードすることもできます。

VMware vSphere Clientからのレポートの種類

SnapCenterのVMware vSphere Clientには、カスタマイズ可能なレポートが用意されており、データ保護ジョブやプラグイン リソースのステータスに関する詳細を確認できます。プライマリ保護のレポートのみを生成できます。



バックアップ スケジュールは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが導入されているタイムゾーンで実行されます。vCenterは、vCenterが配置されているタイムゾーンでデータをレポートします。そのため、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereとvCenterが異なるタイムゾーンにある場合、VMware vSphere Clientのダッシュボードのデータはレポートのデータと異なる可能性があります。

移行されたバックアップに関する情報は、移行後にバックアップが実行されたあと、ダッシュボードに表示されます。

レポートの種類	説明
Backup Report	<p>バックアップ ジョブに関する概要データが表示されます。グラフ上のセクション/ステータスを選択すると、レポート タブにそのステータスのジョブのリストが表示されます。レポートには、ジョブごとにジョブ ID、対応するリソース グループ、バックアップ ポリシー、開始時刻と期間、ステータス、ジョブの詳細 (ジョブが完了した場合はジョブ名 (スナップショット名) を含む)、および警告やエラー メッセージがリストされます。レポート テーブルは、HTML形式または CSV形式でダウンロードできます。レポート内のジョブだけでなく、すべてのジョブの[Job Monitor]ジョブ ログもダウンロードできます。削除されたバックアップはレポートに含まれません。</p>
Mount Report	<p>マウント ジョブに関する概要データが表示されます。グラフ上のセクション/ステータスを選択すると、レポート タブにそのステータスのジョブのリストが表示されます。ジョブごとに、ジョブID、ジョブステータス、ジョブ名、およびジョブの開始時刻と終了時刻が表示されます。ジョブ名にはスナップショット名が含まれます。例えば： `Mount Backup <snapshot-copy-name>` レポート テーブルを HTML または CSV 形式でダウンロードできます。レポート内のジョブだけでなく、すべてのジョブの[Job Monitor]ジョブ ログもダウンロードできます。</p>
Restore Report	<p>リストア ジョブに関する概要ステータス情報が表示されます。グラフ上のセクション/ステータスを選択すると、レポート タブにそのステータスのジョブのリストが表示されます。ジョブごとに、ジョブID、ジョブステータス、ジョブ名、およびジョブの開始時刻と終了時刻が表示されます。ジョブ名にはスナップショット名が含まれます。例えば： `Restore Backup <snapshot-copy-name>` レポート テーブルを HTML または CSV 形式でダウンロードできます。レポート内のジョブだけでなく、すべてのジョブの[Job Monitor]ジョブ ログもダウンロードできます。</p>

レポートの種類	説明
VMまたはデータストアの最新の保護ステータスレポート	<p>SnapCenter Plug-in for VMware vSphereで管理されているVMとデータストアについて、設定された日数における保護ステータスに関する概要情報が表示されます。デフォルトの期間は7日です。プロパティファイルの値を変更するには、"設定のデフォルト値の変更"。プライマリ保護チャートのセクション/ステータスを選択すると、レポート タブにそのステータスのVM またはデータストアのリストが表示されます。保護された VM およびデータストアの VM またはデータストア保護ステータス レポートには、構成された日数の間にバックアップされた VM またはデータストアの名前、最新のスナップショット名、および最新のバックアップ実行の開始時刻と終了時刻が表示されます。保護されていないVMまたはデータストアの「VM or Datastores Protection Status Report」には、設定された日数の間に一度も適切にバックアップされなかったVMまたはデータストアの名前が表示されます。レポート テーブルは、HTML形式またはCSV形式でダウンロードできます。レポート内のジョブだけでなく、すべてのジョブの[Job Monitor]ジョブ ログもダウンロードできます。このレポートは、プラグインのキャッシュが更新されるのに合わせて1時間ごとに更新されます。そのため、最近バックアップされたVMまたはデータストアが表示されないことがあります。</p>

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere GUIからのサポートバンドルの生成

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理GUIにログインするには、IPアドレスとログイン クレデンシャルが必要です。また、メンテナンス コンソールから生成されたMFA トークンもメモしておく必要があります。

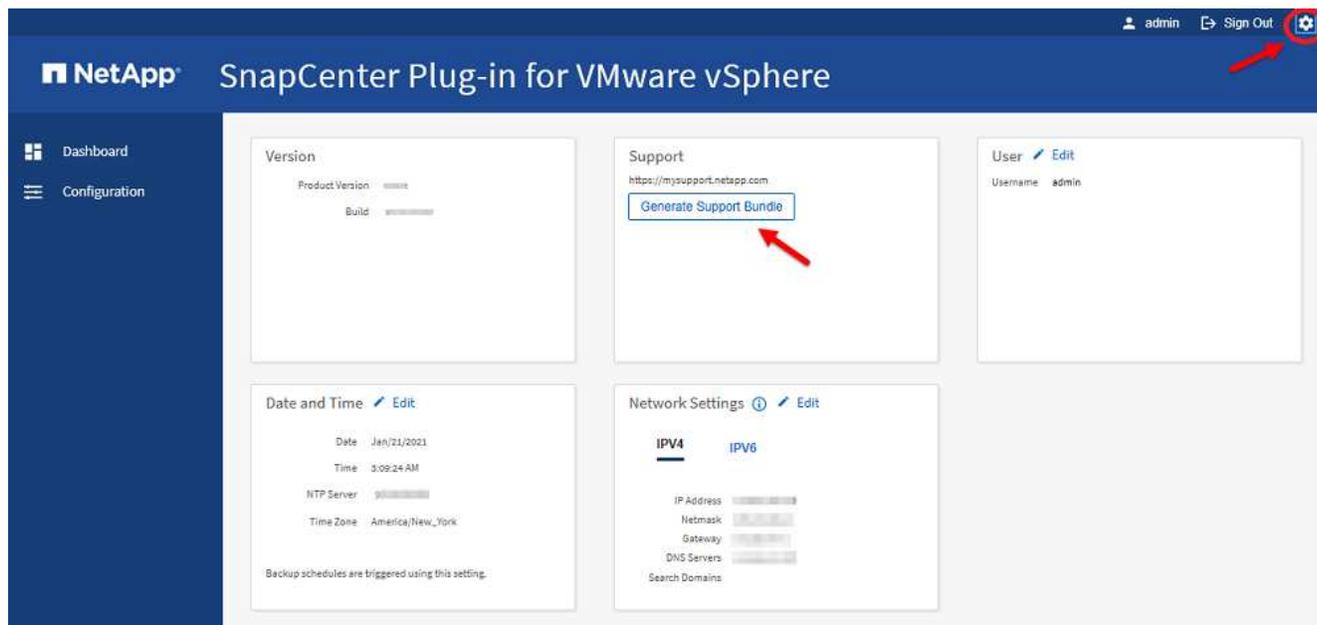
- このIPアドレスは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に表示されたものです。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に指定したログイン クレデンシャル、またはあとで変更したログイン クレデンシャルを使用します。
- メンテナンス コンソールのシステム構成オプションを使用して、6桁のMFAトークンを生成します。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのGUIにログインします。

フォーマットを使用する `https://<OVA-IP-address>:8080`。

2. 上部のツールバーにある設定アイコンを選択します。



3. *設定*ページの*サポート*セクションで、*サポートバンドルの生成*を選択します。
4. サポート バンドルが生成されたら、提供されているリンクを選択してバンドルをNetAppにダウンロードします。

メンテナンス コンソールからのサポート バンドルの生成

手順

1. VMware vSphere Clientで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが配置されているVMを選択します。
2. 仮想アプライアンスの 概要 タブで、リモート コンソールの起動または **Web** コンソールの起動 を選択してメンテナンス コンソール ウィンドウを開き、ログインします。

メンテナンスコンソールへのアクセスとログインについては、以下を参照してください。"[メンテナンスコンソールにアクセスする](#)"。

```

VMRC | || |
-----
Maintenance Console : "SnapCenter Plug-in for VMware vSphere"
Discovered interfaces: eth0 (ENABLED)

Main Menu:
-----
 1 ) Application Configuration
 2 ) System Configuration
 3 ) Network Configuration
 4 ) Support and Diagnostics

 x ) Exit

Enter your choice: _

```

3. メインメニューからオプション*4) サポートと診断*を入力します。
4. [サポートと診断] メニューから、オプション 1) サポート バンドルの生成 を入力します。

サポート バンドルにアクセスするには、[サポートと診断] メニューでオプション 2) [診断シェルにアクセス] を入力します。コンソールで、 /support/support/<bundle_name>.tar.gz。

監査ログ

監査ログは時系列でイベントを集めたもので、アプライアンス内のファイルに書き込まれます。監査ログファイルは、`/var/log/netapp/audit`場所、ファイル名は以下の命名規則のいずれかに従います。

- audit.log: 使用中のアクティブな監査ログ ファイル。
- audit-%d{yyyy-MM-dd-HH-mm-ss}.log.gz: ロールオーバーされた監査ログファイル。ファイル名の日時（例：audit-2022-12-15-16-28-01.log.gz）は、ファイルが作成された日時を示します。

SCV プラグインのユーザー インターフェイスでは、ダッシュボード > 設定 > 監査ログ タブから監査ログの詳細を表示およびエクスポートできます。監査ログで操作監査を表示できます。監査ログはサポート バンドルでダウンロードされます。

Eメールが設定されている場合、監査ログの整合性検証エラーが発生したときに、SCVからEメール通知が送信されます。監査ログの整合性検証エラーは、いずれかのファイルが改ざんまたは削除された場合に発生することがあります。

監査ファイルのデフォルト設定は次のとおりです。

- 使用中の監査ログ ファイルの最大サイズは10MB
- 最大10個の監査ログ ファイルが保持される

ロール オーバーされた監査ログは定期的に整合性が検証されます。SCVには、ログを表示したり整合性を検証したりするためのREST APIが用意されています。組み込みのスケジュールがトリガーされ、次の整合性ステータスのいずれかが割り当てられます。

ステータス	説明
TAMPERED	監査ログ ファイルの内容が変更されています
NORMAL	監査ログ ファイルは変更されていません
ROLLOVER DELETE	- 監査ログファイルは保存期間に基づいて削除されます - デフォルトでは10ファイルのみが保存されます
UNEXPECTED DELETE	監査ログ ファイルが削除されました
ACTIVE	- 監査ログファイルが使用中です - audit.log にのみ適用されます

イベントは、主に次の3つのカテゴリに分類されます。

- データ保護のイベント
- メンテナンス コンソールのイベント
- 管理コンソールのイベント

データ保護のイベント

SCVのリソースは次のとおりです。

- Storage System
- Resource Group
- Policy
- バックアップ
- Subscription
- Account

次の表に、各リソースで実行できる処理を示します。

リソース	操作
Storage System	作成、変更、削除
Subscription	作成、変更、削除
Account	作成、変更、削除
Resource Group	作成、変更、削除、中断、再開
Policy	作成、変更、削除

バックアップ	作成、名前変更、削除、マウント、アンマウント、リストア済みVMDK、リストア済みVM、VMDKの接続、VMDKの接続解除、ゲスト ファイルのリストア
--------	--

メンテナンス コンソールのイベント

メンテナンス コンソールでの管理処理が監査されます。メンテナンス コンソールで使用できるオプションは次のとおりです。

1. サービスの開始 / 停止
2. ユーザ名とパスワードの変更
3. MySQLのパスワードの変更
4. MySQLバックアップの設定
5. MySQLバックアップのリストア
6. 「maint」ユーザーのパスワードを変更する
7. タイムゾーンを変更する
8. NTPサーバーの変更
9. SSHアクセスの無効化
10. jailディスク サイズの拡張
11. Upgrade
12. VMware Tools をインストールします (これを open-vm ツールに置き換える作業を進めています)
13. IPアドレス設定を変更する
14. ドメイン名検索設定を変更する
15. 静的ルートを変更する
16. 診断シェルにアクセスする
17. リモート診断アクセスを有効にする

管理コンソールのイベント

管理コンソールUIでは、次の処理が監査されます。

- 設定
 - adminクレデンシャルの変更
 - タイムゾーンの変更
 - NTPサーバーの変更
 - IPv4/IPv6アドレス設定を変更する
- 構成
 - vCenterクレデンシャルの変更
 - プラグインの有効化 / 無効化

syslogサーバの設定

監査ログはアプライアンス内に保存され、定期的に整合性が検証されます。イベント転送を使用すると、ソース コンピュータまたは転送元コンピュータからイベントを取得し、一元化されたコンピュータ (syslogサーバ) に保存できます。データは、ソースとデスティネーション間での転送時に暗号化されます。

開始する前に

管理者権限が必要です。

タスク概要

このタスクは、syslogサーバの設定に役立ちます。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereにログインします。
2. 左側のナビゲーション ペインで、設定 > 監査ログ > 設定 を選択します。
3. *監査ログ設定*パネルで、*監査ログをSyslogサーバに送信する*を選択します。
4. 次の情報を入力します。
 - syslogサーバのIP
 - syslogサーバのポート
 - RFCタイプ
 - syslogサーバ証明書
5. Syslog サーバの設定を保存するには、[保存] を選択します。

監査ログ設定の変更

ログ設定のデフォルトの設定を変更できます。

開始する前に

管理者権限が必要です。

タスク概要

このタスクは、デフォルトの監査ログ設定を変更するのに役立ちます。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereにログインします。
2. 左側のナビゲーション ペインで、設定 > 監査ログ > 設定 を選択します。
3. 監査ログ設定 ペインで、監査ログ ファイルの最大数と監査ログ ファイルのサイズ制限を入力します。
4. ログを Syslog サーバに送信する場合は、監査ログを **Syslog** サーバに送信する オプションを選択します。サーバの詳細を入力します。
5. 設定を保存します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。